

水の思い出 ④

今年の夏、小学校4～6年生を対象に子どもたちが5日間かけて徒歩で常陸太田市から常陸大宮市、大子町を周り、また常陸太田市に戻ってくる『久慈の杜 100km徒歩の旅』という事業を主催し、私も5日間いっしょに歩いた。そこでは各地域の水道水を「命の水」として利用させてもらった。飲み水やあらゆる生活のための水として、そして生きるために必要である文字通り「命の水」としてのありがたさを感じながら毎日使わせていただいた。

どの地域の水も山々にしみ込んで自然にろ過された地下水を浄水したり、その山々の合間を縫うように流れる川の水を浄化し水道水に利用している。とっても良質な水だそう。ミネラル・カルシウム・マグネシウム等のおいしい水の三要素が含まれており、近隣の造り酒屋さんもこれらの自然の恵みを利用し、おいしい地酒を造っているそう。

またこの夏の暑さ対策と、熱中症防止のため、数キロごとに首から水をかけてもらう。これがまたとっても「冷たくて気持ちイイ!!」

のである。「生き返る」とは正にこのことか…!と思えた瞬間でもあった。

子どもたちは、毎日ペットボトルにそのおいしい水を有り難くいただき、歩きながらゴクゴクと飲み、そして水をかけてもらいながら、100キロの道のりを踏破できた。

自分の住む地域のすばらしさを、「命の水」によって改めて感じさせられた。とても貴重な体験をした真夏の5日間であった。

(馬場町 中澤 範義)



上高倉町・山田川

行こう！国民文化祭 日本一の共演

11月に開催される国民文化祭では、日本一の音楽や美術・芸術が県内各地で堪能できます。県持ち回り開催のため、50年に一度のチャンスです。常陸太田市で開催される民謡・民舞の祭典をはじめ日本一が集う開催地へ、秋の一日出かけてみませんか？

民謡・民舞の祭典



期日 11月3日（月・祝）10:00～15:00

会場 常陸太田市民交流センター パルティホール

第1部 常陸の国の唄と踊り

茨城県内の民謡を各地随一の唄い手たちが披露します。常陸の国の誇りを全国に発信！

第2部 民謡・民舞の諸国漫遊

唄と踊りで楽しむ諸国漫遊。お国柄や情緒あふれる日本の四季、すべてを味わえます。

第3部 常陸の国から次世代へ

これからの日本の民謡を担う若い力の登場です。



民謡 磯節

常陸太田市実行委員会ホームページ

<http://edu.city.hitachiota.ibaraki.jp/kokubunsai/>

常陸秋そばフェスティバル・田楽祭

期日 11月8日・9日（土・日）

（田楽祭は9日のみ）

会場 常陸太田市交流センター ふじ

常陸太田市2団体、県外3団体による田楽舞が披露されます。毎年のお楽しみ「蕎麦打ち日本一人名戦」や新そば食べ歩きコーナーなど、お楽しみがいっぱいです。



そばまつりそば打ち風景



田楽四方め

西塩子の 回り舞台

常陸大宮市

◆11月8日・9日（土・日） 10:00 開会
◆入場無料（雨天決行） 18:00 終演

- ◆常磐津「将門」伝統文化こども教室
- ◆常磐津「子宝三番叟」塩田小学校児童
- ◆こども歌舞伎「白波五人男」塩田小学校児童
- ◆諸沢西金砂祭囃子（諸沢西金砂祭囃子保存会）
- ◆地芝居「菅原伝授手習鑑寺子屋の場」西若座

- ◆常磐津「戻り橋」烏山山あげ保存会（栃木県那須烏山市）
- ◆地芝居「神霊矢口渡 由良兵庫邸之場」
秩父歌舞伎正和会（埼玉県秩父市）
- ◆江波の三番叟 江波三番叟保存会（鳥取県鳥取市）
- ◆地芝居「近江源氏先陣館」黒森歌舞伎（山形県酒田市）
- ◆河井のささら 河井獅子舞保存会（栃木県茂木市）

日本各地から



コミュニティをつなぐエンターテイメント にしおご 西塩子の回り舞台

第23回国民文化祭の催し物の一つとして、江戸時代後期から伝わる「西塩子の回り舞台」で全国から集まった様々な地芝居が上演されることになりました。

常陸大宮市歴史民俗資料館の石井聖子さんと地芝居一座「西若座」の方々に話を伺ってきました。



完成間近の西塩子の回り舞台

■「西塩子の回り舞台」とはどのようなものなのか？

農村歌舞伎の舞台には常設の舞台と組み立て式の舞台があります。西塩子の回り舞台は、丸太と地元の山から切り出した約300本の竹で作られた、間口・奥行き約20メートルの組み立て式の舞台です。かつては、組み立てるために約1ヶ月の日数と、延べ人数で500人位の労力がかかったそうです。西塩子の舞台には、「西塩子の回り舞台」と呼ばれる由縁になった早変わり等のための舞台が回転するカラクリがあります。



すがわらでんじゅ てならいかがみ
「菅原伝授手習鑑」の一場面

■農村歌舞伎とは？

江戸時代の最先端のエンターテイメントといえるのではないのでしょうか。農村歌舞伎には芝居としての楽しみ以外にも楽しみがあったと思います。回り舞台を使用した早変わり等は現代のイリュージョンに通じ、絹の着物を禁止されていた農民にとって舞台衣装を見ることは、現代のファッションショーを観ることと同じ楽しみがあったと思います。各々の集落で競い合いながら道具や幕、舞台の仕掛けを揃えていったようです。どれくらいの道具等を持っているのが、その集落のステータスでもあったようです。近隣の村にも、戦前までは農村歌舞伎の舞台等が残っていたようですが、傷んでしまい処分された舞台もあります。

■どのような経緯で復活したのですか？

昭和40年代に国が農村歌舞伎について大がかりな調査をしたのですが、その際には西塩子の回り舞台は報告されませんでした。その後、平成3年に大宮町（現：常陸大宮市）として独自に調査をした結果「西塩子の回り舞台」を確認することが出来ました。文政3年に作られた幕も残っていて、現存する組み立て式の舞台としては国内最古のものではないかと言う方もいらっしゃいます。

町としてもなんとか復活させたいと考えていましたが、コミュニティに根ざした文化を行政が主となって復活させることにはためらいがあったと思います。話し合いを進め、平成6年4月に「西塩子の回り舞台保存会」が67戸（集落全戸）の参加で結成されました。そして、平成9年秋に50年ぶりに舞台を組立て、平成10年10月に全国的にも有名な「秩父歌舞伎正和会」の協力を得て全国地芝居サミットを開催することが出来ました。

最初は「なんでこんなこと始めてしまったのか」という声があったのも事実です。しかし、平成10年に地芝居一座「西若座」が結成されました。その後、塩田小学校では授業に歌舞伎を取り入れるなど、回り舞台が少しずつ地域に根付きはじめ「回り舞台」がコミュニティ再生の一助になり始めたのではないかと思います。

■ご苦労は？（「西若座」の横山さんにお話を伺いました）

全員が集まるのが難しいながらもなんとか続けていられますが、「舞台の組立」「芝居」を今後も続けていくためには、少子高齢化に不安を覚えています。

しかし、今回の出演者には市報の公募に応募してくれた、集落以外の方々もいます。今後も、集落以外の方々や学生ボランティアさん達の協力を得ながら続けていけたらと思います。



「西若座」稽古の様子

江戸時代の最先端のエンターテイメントが、時代を経て伝えていくべき民俗文化に変わった。そして、コミュニティをつなぐためのものに变化しようとしている。これからも、「人と人をつなげる何かとして伝え続けられれば」と思いました。

稽古がおわった後、出演者の小学生と中学生が「自分でやりたいと思ったから前回（平成18年）初めて応募して出演したの」「自分で応募したんだよ」「楽しかったから今回も出るの」と話してくれました。ああ、「楽しい事」は続けられる事なのだと思いながら帰路につきました。（五十嵐 弘）

ティファニー財団
伝統文化振興賞受賞

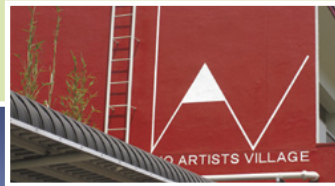
小さな集落の住民たちが力をあわせて壮大な回り舞台を復活させ、地域社会の活力の潜在力を再認識させたことが評価され、「西塩子の回り舞台保存会」が「ティファニー財団賞－日本の伝統文化と現代社会－」の伝統文化振興賞を受賞しました。

（広報常陸大宮7月号より）



授与されたトロフィー

団地でレジデンス 取手アートプロジェクト2008



- ◆会 期 11月1日(土)～16日(日)の金・土・日・祝
- ◆会 場 取手市井野団地を中心とする市内各所
- ◆ホームページ <http://www.toride-ap.gr.jp/index.html>

取手アートプロジェクト(通称TAP)は取手市に東京藝術大学の第2キャンパスがあることから、市民と東京芸大、取手市との連携協力により1999年より毎年開催されてきました。アートによるまちづくりの先駆的なモデルとして全国的にも注目され、評価されています。10年目を迎えるTAP2008では「取手井野団地ー電気・ガス・水道・アート完備」と銘打って、戦後の高度成長期に全国に建てられた公団住宅のひとつである取手井野団地を舞台に、ゲストプロデューサーとして建築家ユニット「みかんぐみ」をお招きし、ゲストアーティストや全国公募で選ばれた若いアーティスト、国際交流プログラムとして韓国から来られるアーティストなど、合わせて23組、総勢数十名が10月1カ月間を団地で生活しながら制作し、11月に作品展示を行います。大勢の人々が暮らす団地のただ中でおこなわれるアートイベントであり、内容も絵画的なものから部屋自体を作品に変えてしまうもの、野外での立体や映像の作品からパフォーマンスまで様々です。アーティストたちの活動や作品を通して新しい息吹が吹き込まれ、どんな変化が団地の暮らしに生まれるのかが大いに期待されます。

また、同じ取手井野団地内にある「井野アーティストヴィレッジ」は、若いアーティストたちの共同アトリエとして昨年12月オープンし、取手市と東京芸大によって運営されているもので、TAP会期中に合わせて「オープンスタジオ」が行われます。



会場の取手井野団地



今年のTAPは、国民文化祭いばらき2008「現代アートフェスティバルin取手」のメインプログラムでもあります。取手駅前には芸大生などによる「アート屋台」が建ち並び、東京藝術大学取手校地にある大学美術館では、郷土作家による「取手美術の歩み」展も開催されて、TAP2008と合わせて取手が「アートのまち、アーティストが集まるまち」であることを実感していただけることでしょう。

←公募審査の様子

(渡辺好明 東京藝術大学教授)

TAP2008に行こう!

フォンスネットワークでは今回ご紹介したTAP2008(取手市)への視察見学者を募集します。

- *募集人数 10名 *期 日 11月7日(金)
- *内 容 TAP2008見学等
おおよそ半日の行程、資料代他として500円程度の自己負担をお願いします。
- *申し込み
はがきに住所・氏名・年齢・電話番号をお書きの上、

10月26日必着でお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。当選者には生涯学習センターからご連絡を差し上げます。

*申し込み先・問い合わせ

常陸太田市中城町3280 生涯学習センター内
フォンスネットワークTAP2008係

第4回 常陸太田ボランティアまつり 高校生の『つ・な・が・り』再発見!

常陸太田市総合福祉会館を会場に、地域で活躍しているボランティア同士の交流と市民へのボランティア活動参加の啓発を目的に、「常陸太田ボランティアまつり」を12月7日(日)に開催します。

今回で4回目を数えるこのボランティアの祭典において、今年は県立佐竹高等学校と県立太田第二高等学校両校のJRC部がタッグを組み、「つ・な・が・り」をコンセプトにしたコラボ企画を展開予定!

各校のJRC部代表者は企画立案から関わっており、高校生パワーと自由な発想を活かしたJRC部の特色ある企画に乞うご期待!

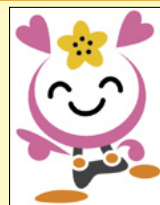


この企画を通して、自分自身と地域のボランティアや市民、他校JRC部メンバー等との身近な「つ・な・が・り」を感じ、考え、そして再発見してほしいと思います。



右のイラストは昨年、ボランティアまつり内で投票が行われ、応募総数308点の中から選ばれたボランティア・市民活動センターマスコットキャラクターの「タッチ〜」です。よろしくね!

タッチ〜 →



子育て
奮闘記

踊るママパラダイス ④

「神様、お願い!」この言葉を私は人より多く口にします。不安になったら一言。ピンチと思ったら一言。子どもを送り出すときに一言。困ったときの神頼みですね。

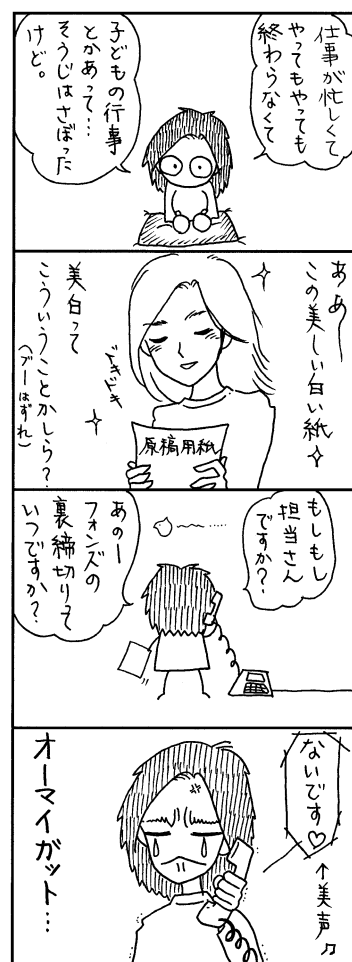
80歳を越したある患者さんがいらっしゃいます。その方は5年前に大病をされ、意識がなかった時、お花畑の中を歩き、遠くから誰かに呼ばれたけれど川を渡らなかったのだそうです。今はお元気で「神様は信じていないよ、俺は。」と豪快に笑う。実力で帰還したそうです。

そんな人生の先輩のお話を聞いても、私は「神様!」とつぶやく。お願いする相手は、自然のモノだったり、亡くなった両親だったりするのですが、一つだけ決めているのは自分でできる事は、努力するということです。大変だけど一通り頑張ったら最後に「神様、あと一押しして下さい。」とお願いする。結局は、まず自分で頑張れ、実力で勝負するという点では、前述の患者さんと同じなのですが、人生経験が浅い分、お願いしちゃうんですね。

子どもたちに大事があると、私は子どもに「頑張れば神様が見てくれるよ。」と言います。成功は、頑張ったご褒美だから、私だって明日からまた、頑張っちゃいますよ。

—— わいわいネット 織田 裕子 ——

いつもでは、ないですよ



常陸太田市には、個人でそばを打っている方が沢山いますが、単なるそば打ちを越え、自分たちの楽しみを広げている。そんなグループを紹介します。

水府そば愛好会



水府の特産物で村おこしをしようと熱く語り合って立ち上げたのがこの会。もともと水府では昔から各家庭でそばをうって食べる習慣がありますが、それはけんちん汁などと食べる素朴な田舎そば。愛好会の皆さんはそれとは違う江戸風の細くのど越しの良いそばをめざし、特産のそばのおいしさをよりアピールしよ

うとしました。村民祭や竜神大吊橋のもみじ祭りでの腕前を披露して大活躍、その実力は広く知られるところとなりました。会結成から5年後、会員の有志5人で農業法人(有)水府愛農会を設立し本格的にそばの栽培を始めます。それにともない全国からの視察やテレビへの出演依頼も受けるようになり、会の活動も大忙し。様々な大会やイベントでそば打ちを披露し水府産のそばのおいしさをPR。また老人会への慰問や親子そば打ち教室での講師、小中学校での食育学習の授業を受け持つなど地域との交流も積極的に行っています。昨年11月には常陸太田秋まつりにも参加し大勢のお客様のおもてなしに腕をふるってくれました。(菊池幾子)



まゆづる蕎麦の会



いばらき蕎麦の会から分かれ常陸太田近郊限定のイベント出前そば打ちとして2年前に発足した会です。5年位前に皆さん里美で習った人達が多く、遠くは長野県の松本城までイベントに参加しているとのこと。イベントでたくさんの経験を積んでいるため、手さばきから出で立ちまでプロと見間違えるほどです。

道具も里美蕎麦遊会と同様手作りの木製ロングケー

スに麺棒を入れています。麺打ち台は仲間に大工さんがおり、きめ細かい所までアイデアを入れた自分たち流の道具を自作しているとの事でした。道具を大事にするとところも本職さながらなのでしょう。

出前そば打ちで一番嬉しいのは、大勢の人々と友達になれ、又、いろいろな食の勉強ができることであると楽しそうに話されておりました。チョット羨ましいと感じました。

(武藤邦宏・高橋靖弘)





さとの会



地域の男達が集まって、おいしいそばと料理を囲んで語り合う。そんな夢のような会がこの「さとの会」です。ふるさとの「さと」と佐都地区のさと2つの意味をこめて名づけました。

圧倒されるのは、そばの茹で方で、沸騰した羽釜でグラグラと茹でたら、冷水の入ったバケツにバシャと放り込んであらう。なんとも豪快な、まさに男の料理といった感じです。

種まきから、刈とり、製粉、手打ちとすべて自分たちで行った、「自家製の味」。粉をふるうのは“80メッシュ”と決めているあたりにそばへの愛情を感じます。

さらにテーブルには、アユの塩焼き、マスの燻製、マグロの兜焼き、1匹丸ごとアンコウのつるし切り、など季節ごとの美味しいものが並ぶそうです。今回はアイソ(ウグイ)の塩焼きにタケノコの丸焼きでした。タケノコの皮をつけたまま、炭火でじっくりと焼く、この味は衝撃の初体験でした。

ビールを片手に「歩きで来たから大丈夫♪」と笑ってられるのは、ご近所ならではのところ。規則や形式にこだわらず、とことん楽しむ姿が印象的な会でした。

(武藤邦宏・高橋靖弘)



きょう ゆう 里美蕎麦遊会



全蕎協(全国蕎麦文化地域間交流推進協議会)の段位認定者、いわゆる段持ちがほとんど、という実力者ぞろいのグループが里美蕎麦遊会です。

初めはそば打ち派遣隊としてスタートして、近隣市町村の会社などにそばを打ちに行っていたそうです。

我流で打っていた人やよそで習ってきた人もここでは“江戸流”の標準的な打ち方を練習するそうで、

薄く延ばしていく時に角の角度は「1回目60度」といった具体的かつ、きめ細かな指導がされていました。

道具も楽しみの一つということで、皆さんすごいこだわりようです。自ら和紙を張った箕や、銀色のロングアタッシュケースから取り出したのは麺棒といった具合です。木工所に依頼して作った麺打ち台は収納、運搬に便利で、安定性がよくて、そばやうどんを打つ人がほしがらうような台でした。会員の方が愛情を込め“道場”と呼んでいましたが、武道や茶道などと同じように“そば打ち”という道を追求して楽しんでいるんだな、と思いました。

(武藤邦宏・高橋靖弘)



私がこの絵本に出会ったのは、18歳の頃授業の中で、先生の勧めがきっかけでした。「注文の多い料理店」題名を目にした時、なんて素敵な料理店だろう。メニューもたくさん揃っているのね。と、ワクワクした気持ちでいっぱいでした。

それが、ページが進むにつれ、気持ちは一転。「注文」ってその「注文!？」と、幼い頃から暖かくて、感動したり、勇気をもらえる内容の本が好きで、推理物に不慣れな私は、今までにない緊張感を絵本からもらいました。

ハラペコで入ったレストランに「体に香水をつけて下さい」等。色々な「注文」を、主人公たちが逆にされていきます。一つ一つ注文を受けるたびに、扉を開け、最後の部屋まで進みます。そこで待ち構えていたのは……。

私の中で、穏やかな想像から逆の世界へ足を踏み入れ、ページをめくる手が心なしか早く動き、先が気になる展開となりました。

絵本といえば、題名やさし絵がまず読者にイメージを与えてくれますよね。そして。そこから自分なりに、興味をそそられるものです。宮沢賢治のこの童話は、色々な方がさし絵を描いていますが、スズキコージのさし絵は、まさしくイメージ通り、ものすごい迫力です。

6歳の娘には、まだ早いかと、思っていました。ちょうど6歳から対象ということもあり息子と娘に、今回、原稿の依頼を機会に、読み聞かせしました。「怖そう」という二人に、「ママの思い出の絵本なの」と読み始めると、すっかり宮沢賢治とスズキコージの世界に入り「この注文大丈夫?」「どうなるの?」と、私と同じです。題名からのイメージと、やはり違う展開に、ハラハラドキドキしたそうです。

それにしても、絵本は色々な世界に入って感情移入することができる、素敵な夢舞台ですね。

(次回は 久米町 石井 和子さん)



ほつ とひといき

タマゴタケ (テングタケ科)

常陸太田市内の山中で、タマゴタケを見つけました。赤～橙褐色をした大型のキノコで、出たては白色の膜に覆われており、次第に膜の上部が破れて傘が現れます。

傘は開くと直径が6～18cmに達し、傘の周辺の表面に放射状の溝があります。

柄は長さ10～20cm、黄色の地に帯赤色のだんだら模様があり、上部に橙黄色のつば、基部に白色のつばがあります。夏から秋に5～10本

で群生していることがあり、キノコを発見した時は感動と収穫の喜びを味わえます。

赤色をして毒々しいのであまり食用



にされませんが、けんちん汁や鍋物にすると美味です。

ただし、有毒なキノコもあるので、採取した後は、よく知っている方に確かめてもらってから食べることが賢明です。

(古平 均)



ウィークエンドシネマランド



11月22日(土)

- ◆上映作品 ユー・ガット・メール(字幕)
- ◆上映時間 ①9:30～②13:30～
- ◆入場料 無料(入場整理券が必要)

小さな絵本店を経営するキャスリーン(メグ・ライアン)の一番の楽しみは、インターネットで知り合った彼との毎日のメールのやりとり。名前だけのやりとりにも関わらず、キャスリーンは仕事や私生活

◆整理券配布

10月28日(火)午前9時から

生涯学習センター及び各学習センター

- ◆問合せ先 生涯学習センター事業係
- TEL 0294-72-8888

の悩みを相談するうち、メール相手の彼に惹かれはじめていく。しかし、彼こそが大手書店のオーナーの御曹司にして最大のライバル ジョー(トム・ハンクス)だったのだ。そうとは知らず、ふたりはついに会う約束をするが…。